

## 1) 整備概要策定の背景と経緯

大分市は大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」、「大分市都市計画マスタープラン」及び「おおいた中心市街地まちづくりランドデザイン」に沿った「中心市街地公有地利活用基本構想」を2019（平成31）年3月に策定し、中心市街地のさらなる魅力創造を図ることとしました。この「中心市街地公有地利活用基本構想」では、荷揚町小学校跡地等の活用について、周辺施設と連携し、歴史・文化・学びの場の充実を図り、既成市街地と互いに機能を補い合い、共存共栄することで、都心の魅力を伸展させ、回遊性と滞留性をあわせもつ空間形成を図ることとしております。

これを受け、2021（令和3）年3月「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」（以下、「整備基本構想」）を策定しました。これまでの市民の芸術活動やその成果発表の場を新たに整備される荷揚町小学校跡地複合公共施設に移設し、アートプラザの周辺公共施設と連携したよりよい施設の整備概要を検討するため、令和4年度は、「整備基本構想」に示された「整備方針」の具体的な事業内容を提示する「新たな知の拠点整備概要」を策定しました。

## 2) 新たな知の拠点の創出

「整備基本構想」において示されたアートプラザを新たな知の拠点に創出する整備方針は、以下の3つの柱にまとめることができます。

- 1 磯崎新氏関係資料等の収集・調査・研究・公開の場
- 2 幅広い世代の市民や研究者等が集う学びと交流の場
- 3 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育む場

上記3つの柱を基に、大分の建築や芸術などに関する情報を集めて発信し、それらの知的資源に幅広い世代の市民や研究者等が集い、学び、交流する場を設けてこれらの活動を次世代に伝え、大分の建築や芸術などの創造と発展に寄与する新たな知の拠点を創出することを目指します。

## 3) 必要な機能と事業展開

新たな知の拠点には、磯崎新氏に関する資料だけでなく、大分にゆかりのある近現代の建築や都市計画等の資料を収集し、関心がある研究者等が滞在する研究室とその研究者等の蔵書の書架を設置し、研究者等と幅広い世代の市民が意見を交わす学びの場とそこで生み出された交流や学びを次世代の担い手の育成の場とする機能が必要です。それは、既存の施設で例えるのであれば、博物館、図書館、研究機関の一部の機能であり、右の図のような機能を持つ複合交流施設として整備することが考えられます。



## 4) 施設整備計画

新たな知の拠点の機能実現のためには次のような施設が必要と想定されます。諸室及びそれらの面積は、今後、基本計画等で引き続き検討します。なお、想定床面積は現在のアートプラザの利用状況を鑑みた参考値です。

| 想定される施設・設備              |  | 想定床面積 (㎡) |
|-------------------------|--|-----------|
| 展示エリア                   |  | 1104      |
| 常設展示スペース（磯崎新氏関係資料等の展示）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示スペースは主に建築模型、平面作品を展示</li> <li>・オープンスペースは様々な展示やイベントができるよう柔軟性を高く</li> <li>・図書の開架方法は要検討</li> </ul> | (540)     |
| オープンスペース（若手芸術家・建築家等の展示） |  | (234)     |
| 磯崎新氏寄贈図書室               |  | (255)     |
| レファレンス                  |  | (45)      |
| 展示設備保管庫                 |  | (30)      |
| 収蔵エリア                   |  | 376       |
| 収蔵庫                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵作品の種類・材質・性質等に応じて、適正に管理</li> <li>・オープンスペースの作品を一時保存管理</li> </ul>                                   | (244)     |
| 一時保管庫                   |  | (42)      |
| 搬出入口・トラックヤード            |  | (90)      |
| コミュニケーションエリア            |  | 422       |
| ワークショップスペース             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な規模、内容の後援や会議、ワークショップ等、様々なイベントの利用形態で活用できる機能を備える</li> </ul>  | (102)     |
| コミュニティスペース              |  | (115)     |
| カフェ/展示スペース              |  | (163)     |
| ショップ                    |  | (42)      |
| 調査研究エリア                 |  | 337       |
| 研究室                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者等の研究スペースを設置</li> <li>・メディアアートの磯崎新氏関係資料等を閲覧できる機能を備える</li> </ul>                                  | (78)      |
| 共同研究室                   |  | (111)     |
| 個室研究室                   |  | (48)      |
| メディアスペース                |  | (78)      |
| 資料整備室                   |  | (100)     |
| 交流サロン                   |  | (57)      |
| 共用管理事務エリア               |  | 539       |
| 事務室・応接室                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の運営や館の維持管理に必要な機能</li> </ul>  | (80)      |
| 管理室                     |  | (40)      |
| 更衣室、ロッカールーム             |  | (10)      |
| 電気・機械室                  |  | (369)     |
| トイレ                     |  | (40)      |

5) 新たな知の拠点の創出から機能と事業展開の詳細

以下は、整備基本構想におけるアートプラザの整備方針から、本整備概要の「第2章 新たな知の拠点の創出」から「第3章 必要な機能と事業展開」を図示したものです。

